

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	道路事業（道路改良事業）				
地区名	主要地方道豊田安城線（安城新田工区）				
事業箇所	愛知県安城市新田町地内				
事業のあらまし	<p>主要地方道豊田安城線は、東名高速道路豊田 IC を起点として、国道 1 号と交差し、安城市中心部に至る延長 16.9km の路線であり、終点で主要地方道岡崎半田線に接続し、重要港湾衣浦港に至ることから、西三河内陸部の工業地帯と衣浦港を結ぶ役割を担っている。</p> <p>本路線は当該事業区間の現道は 2 車線であるが、道路幅員が狭隘で歩道が設置されておらず、円滑な交通と歩行者の安全性が確保できていない。また、名鉄西尾線との平面交差部及び安城市の中心部では慢性的に渋滞している。</p> <p>このため、「国際競争力を強化する基盤整備」、「人の交流を支え地域を活性化する基盤整備」、「交通安全対策の強化」を主な目的として、西三河内陸部の工業地帯と衣浦港を結ぶ道路ネットワークを強化し、交通の円滑化と歩行者の安全性を確保するため、主要地方道豊田安城線のバイパス整備を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 国際競争力を強化する基盤整備</p> <p>(2) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <p>(3) 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (H23)	再評価時 (H28)	変動要因の分析	
	事業期間	平成 24 年度～30 年度	平成 24 年度～36 年度	用地買収が難航したため、事業期間を延期	
	事業費（億円）	12.0	12.0		
	経費内訳	工事費	5.7	5.7	
		用補費	6.0	6.0	
その他		0.4	0.4		
事業内容	バイパス整備 延長 L=0.7km 幅員 W=30m 暫定 2 車線	バイパス整備 延長 L=0.7km 幅員 W=30m 暫定 2 車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>本路線は、交通量が 17,413 台/日、混雑度が 1.06（H22 道路交通センサス）となっており、朝夕を中心に名鉄西尾線との交差部及び安城市の中心部では渋滞が発生している。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>(1) 国際競争力を強化する基盤整備 重要港湾衣浦港における貨物取扱量は事前評価時とほぼ同数で推移しており、本路線による西三河内陸部と衣浦港との結びつきは重要であることから、引き続き整備する必要がある。</p> <p>(2) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備 依然として交通量は多く、渋滞が発生している。</p> <p>(3) 交通安全対策の強化 道路幅員が狭隘で歩道が設置されておらず、歩行者の安全性が確保されていない。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>事業採択時と現在の状況に大きな変動要因はなく、引き続き整備の必要性がある。</p>			

②事業の進捗状況及び見込み	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>																																																																																																																				
			<p>【理由】</p> <p>事業の必要性に変化はなく、周辺道路の渋滞解消に向けて引き続き整備が必要である。</p>																																																																																																																				
	1) 進捗状況		<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #ADD8E6;"> <th colspan="2"></th> <th>H24~ H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> <th>H36</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">↔</td> <td colspan="2">↔</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="9">↔</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="5">↔</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業費 (億円)</td> <td>計画</td> <td>8.3</td> <td colspan="5">7.2</td> <td colspan="4">3.5</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1.3</td> <td colspan="9"></td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #ADD8E6;"> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr style="background-color: #ADD8E6;"> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.7</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>0.7</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>8.3</td> <td>1.3</td> <td>16%</td> <td>12.0</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>1.9</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>5.7</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>6.0</td> <td>0.9</td> <td>15%</td> <td>6.0</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>75%</td> <td>0.4</td> <td>75%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、約14%</p>											H24~ H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	工種区分	調査・設計	↔		↔								用地補償	↔									工事						↔					事業費 (億円)	計画	8.3	7.2					3.5				実績	1.3											これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.7	0.0	0%	0.7	0%	事業費(億円)	8.3	1.3	16%	12.0	11%	工事費	1.9	0.0	0%	5.7	0%	用補費	6.0	0.9	15%	6.0	15%	その他	0.4	0.3	75%	0.4
		H24~ H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36																																																																																																												
工種区分	調査・設計	↔		↔																																																																																																																			
	用地補償	↔																																																																																																																					
	工事						↔																																																																																																																
事業費 (億円)	計画	8.3	7.2					3.5																																																																																																															
	実績	1.3																																																																																																																					
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																			
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】																																																																																																																		
延長(km)	0.7	0.0	0%	0.7	0%																																																																																																																		
事業費(億円)	8.3	1.3	16%	12.0	11%																																																																																																																		
工事費	1.9	0.0	0%	5.7	0%																																																																																																																		
用補費	6.0	0.9	15%	6.0	15%																																																																																																																		
その他	0.4	0.3	75%	0.4	75%																																																																																																																		
2) 未着手又は長期化の理由		<p>用地買収が難航し、その対応に不測の日時を要した。</p>																																																																																																																					
3) 今後の事業進捗の見込み		<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体より早期整備が要望されており、また、工期延期の要因となった用地買収も一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがある。 <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成36年度までに整備が完了する予定である。 																																																																																																																					
判定	B	<p>A： 事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B： 次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>○これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</p> <p>C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																																																					

		<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収に不測の日時を要したため、事業が長期化した。今後も用地買収に日時を要するが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通り平成 36 年度までに整備の完了が見込まれるため。
<p>Ⅲ 対応方針</p>		
<p>継続</p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>	
<p>Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容</p>		
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度、安全性の改善状況 		